



連絡先：小林市細野300番地 TEL：23-2475

発行日 令和4年12月

## 令和4年度小林市一般会計補正予算(第12号)が可決！

- ◎こども応援基金を新たに創設  
市民が安心して結婚し、子どもを産み育て、将来を担う子ども達が健やかに育つ環境づくりを推進するためこども応援基金を設置する
- ◎HPVワクチン任意接種費用助成金  
定期接種の機会を逃した対象者のうち、任意接種を自費で受けた方への助成金を支給
- ◎健幸のまちづくり拠点施設整備事業費  
専門的な知識及びマネジメント能力を有する事業者の支援を受けながら、デザインビルド事業者の募集・評価・選定を行う



## 議会等での役職

- ◎常任委員会・特別委員会
  - ・市民厚生委員会 委員長
- ◎小林市議会選出の各種委員等
  - ・民生委員推薦会 委員長
  - ・都市計画審議会 委員
  - ・小林市人権・同和問題啓発推進協議会委員
  - ・環境保全に関する協定に伴う立会人
- ◎議員連盟等
  - ・小林市防衛議員連盟 副会長

令和4年3月定例会 一般質問

※はなみずき 令和4年5月1日号掲載分

一般質問

## 官民協働による具現化



じみんとうかい  
自民党きずなの会  
はらかつぶ  
原勝信 議員

### 新型コロナウイルス対策

**問** ウイズコロナ時代のイベントについて、リアル型・ハイブリッド型・オンライン型イベントの考えは。

**答** 各イベントの開催目的と効果、効率性、安全性、メリット、デメリットを考慮しながら検討する。

### 地域鉄道の活性化

**問** JR吉都線利用促進協議会は現在、小林市が事務局で会長は小林市長である。存続に向けた効果的な利用促進は。

**答** 今後、イベント的な要素に加え、日常の利用、活用をどうしていくか、意見・アイデアを募りながら、取り組んでいく。

**問** 駅周辺や路線等の草刈り、雑木の伐採等、景観を整備して利用を高め、観光列車

を呼び込みやすい状況をつくるべきでは。

**答** 基本的に、軌道敷地内の草刈り清掃はJR職員以外は行えないが、駅周辺の草刈りや清掃活動は強化充実に取り組みたい。

**問** 令和4年10月1日に小林駅が110周年、令和6年は西小林駅が95周年を迎えるが、プロジェクトチームの設置は。

**答** 官民協働の取組等も含めて関係部局と協議・検討する。



地域人材育成と市民活動の活性化

詳しくはコチラから



# ななつ星が吉都線入線



自民党きずなの会  
はらかつぶ  
原 勝信 議員

## 子育て環境

**問** 平成28年の0歳〜5歳の児童人口は、2379人で、令和6年の推計では1864人と515人も減少する。今年度、幼児教育保育施設の定数を120人削減しているが、今後の見通しは。

**答** 第2期子ども・子育て支援事業計画には、新型コロナウイルスの影響や、令和元年度から大きく減少した出生数等が反映されていないため、今年度計画の見直しを行う。

**問** 放課後児童クラブで待機児童が生じている。解決策は。  
**答** 国の基準を上回る臨時的な利用が認められるのか、国県と協議中である。国庫補助金の確保など、条件が整えば受入れ体制が確保できる。

## 吉都線110周年

**問** 記念事業の実施は。

**答** 各種イベントやツアーは、JR吉都線利用促進協議会で検討されるが、110周年記念の冠事業とするなど考えている。

**問** クルーズトレインななつ星九州が吉都線に入線する。市民総力戦のおもてなし・お出迎えが重要と考えるが。  
**答** 駅のホームや沿線で旗を振ったり、横断幕を掲示するなど、おもてなしについて、同協議会で検討を重ねる。



市民総力戦によるお出迎え

詳しくは  
コチラから



# 市独自の経済支援策は



自民党きずなの会  
はらかつぶ  
原 勝信 議員

**問** 物価高騰に伴うコスト負担増や、コロナ禍の影響を強く受けた中小企業等に対する事業継続のための市独自の支援策は。

**答** 影響が長期化する中、特に夜の飲食店は大変厳しい経営状況である。市では、第2弾となるプレミアム付商品券や宿泊者クーポン券発行事業を行っている。今後も状況を把握し、的確な経済対策が打てるよう関係機関と連携していく。

## 地元応援消費キャンペーン

**問** 外出自粛やイベント等の中止、観光交流の急激な減少により、経済活動や市民生活への影響が見られるが、地元生産者や事業者を応援し、地域を元気にするキャンペーン展開の考えは。

**答** 秋まつりに合わせた農畜

産まつりを開催し、本市農畜産物を提供する予定。また、都市部での小林産宮崎牛フェアやドライブスルーによる農畜産物の販売を検討したい。その他、地元産品応援キャンペーンとして、小林まちづくり株式会社において地元で確保される商品をセットにして販売している。



地域全体を元気にする催物開催を

詳しくは  
コチラから

